

2019年度 国際開発入門コース 研修スケジュール

	日時※	テーマ	講師
1	10:00-12:00	オリエンテーション	FASID
2	10/19	持続可能な社会の実現 ～SDGsで創る未来～	紺屋 健一 氏 (政策研究大学院大学/GRIPS 政策研究院 教授・参与) 1994年東京都立大学建築学科卒業、1996年同大学院工学系研究科建築学専攻修了、同年国際協力事業団 (現在のJICA) 入団、建設省出向、フィリピン事務所勤務、都市開発分野の担当課長等を経て、2016年5月から企画部SDGs推進班参事役。2018年1月より現職。
3			三宅 隆史 氏 (公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会/SVA ネパール事務所所長) 1994年現職場に入職。海外事業課長、ビルマ難民支援事業事務所、企画調査室長、事務局次長、アフガニスタン事務所長、タイ事務所アドバイザー等を経て、2017年より現職。教育協力NGOネットワーク (JNNE) 事務局長も務める。近著に『わたしは10歳、本を知らずに育った。』(共著、2017年)、『途上国世界の教育と開発—公正な世界を求めて』(共著、2017年)、『SDGsと開発教育:持続可能な開発目標のための学び』(共編著、2016年)等。
4	10:00-12:30	JICAによる国際協力、 民間連携の取り組み	福原 一郎 氏 (国際協力機構/JICA 民間連携事業部 計画・連携企画課 企画役) 2004年よりJICAに入構。ICT分野やアフリカにおけるODA事業等を担当した後、2009年～2012年までガーナに駐在。その後、民間企業への出向等を行い、現在はJICA民間連携事業部でSDGsビジネス推進業務を担当。近著に『SDGsとこれからの日本企業』(共著、2018年)等。
5	10/26	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) の実現に向けて	稲場 雅紀 氏 (アフリカ日本協議会 国際保健部門ディレクター/SDGs市民社会ネットワーク 政策担当顧問) 1990年代に横浜市・寿町の日雇労働組合の医療班の事務局長責任者を務め、日雇労働者の保健・医療・生活の問題に取り組む。その後、LGBTの人権運動やエイズの問題等に関する活動を経て、2002年より(特活)アフリカ日本協議会の国際保健ディレクターとして、途上国の保健問題に政策面から関わり、2017年に(一社)SDGs市民社会ネットワークを設立、SDGs達成のためのNGOの連携や政策提言に従事。現在同ネットワークの政策担当顧問。
6		障がいと開発	戸田 美佳子 氏 (上智大学総合グローバル学部 助教) 京都大学アフリカ地域研究資料センターの産官学連携特任研究員、日本学術振興会・特別研究員、国立民族学博物館の機関研究員を経て、2018年4月より現職。近著に『アフリカの「障がいと開発」—SDGsに向けて』(共著、アジア経済研究所、2016年)、『越境する障害者—アフリカ熱帯林に暮らす障害者の民族誌』(明石書店、2015年)等。
7	10:00-12:30	アフリカからグローバルイシュー を考える	佐藤 章 氏 (アジア経済研究所 地域研究センター・学術情報センター 主任調査研究員) 1993年にアジア経済研究所に入所以降、一貫してアフリカ研究に取り組む。近著に、『改訂新版 新書アフリカ史 (講談社現代新書)』(共著、2018年)、『コリア共和国の近代: コートジボワールの結社史と統一的革命』(2015年)、『和解過程下の国家と政治: アフリカ・中東の事例から』(編著、2013年)等。
8	11/9	ジェンダーと農村開発	楳原 大樹 氏 (株式会社はいはこマネジメント・コンサルティング コンサルタント) 英国サセックス大学大学院でジェンダーと開発学の修士取得。国連機関 (DESA (経済社会局)、INSTRAW)、NGO (アムダ)、青年海外協力隊 (グアテマラ) を経て、2003年より現職。小農生活支援、開発とジェンダー、参加型開発を専門分野とし、農村開発における技術協力事業及び栄養改善に取り組む。著書に『「開発におけるジェンダー」と男性性へのアプローチ探求』(2005年)等。
★		16:10-17:30	懇親会 (場所: FASIDセミナールーム) ※懇親会の参加は任意です。
9	11/16	国際開発協力の歴史、 日本政府・主要ドナーの開発援助 と国際相互依存関係	大野 泉 氏 (国際協力機構/JICA研究所 所長、政策研究大学院大学/GRIPS 客員教授) 国際協力事業団 (現在のJICA)、世界銀行、国際協力銀行 (JBIC)、GRIPS教授を経て、2018年10月より現職。過去に外務省「ODA大綱の見直しに関する有識者懇談会」委員、「国際協力に関する有識者会議」委員、経済産業省「BOPビジネス支援センター」運営協議会座長等歴任。近著に『町工場からアジアのグローバル企業へ: 中小企業の海外進出戦略と支援策』(編著、中央経済社、2015年)等。
10		13:30-16:00	気候変動の影響、 緩和策と適応策
11	11/23	支援現場における国際基準 スフィアから学ぶ人道支援の 質や説明責任	五十嵐 豪 氏 (特定非営利活動法人 難民を助ける会/AAR Japan プログラムマネージャー) 2009年より現職。数多くの海外・国内の緊急人道支援の現場に出勤したほか、現在は人道支援に携わる人材育成のための研修講師やモジュール開発にも携わっている。人道支援における質と説明責任 (スフィアやCHSなどの国際基準) をはじめ、WHO版心理的応急処置など人道支援に関わる研修のトレーナー資格を有する。
12		10:00-12:30	教育分野における国際協力
13	11/30	UNシステム及び 国連機関による平和政策	江原 裕美 氏 (帝京大学外国語学部 教授) 1991年に帝京大学へ着任、2005年より現職。ラテンアメリカにおける教育開発と国際教育協力の研究に取り組む。近著に『移動する人々と国民国家—ポスト・グローバル化時代における移民社会の変容』(共著、明石書店、2017年)、『国際移動と教育 東アジアと欧米諸国における国際移民をめぐる現状と課題』(編著、明石書店、2011年)等。
14		16:15-18:15	まとめの会
			FASID

※全ての回の時間内に小休憩 (10分) を含む。

＜一部変更になる可能性があります。＞